

プログラム名：「脳情報の可視化と制御による活力溢れる生活の実現」

PM名：山川 義徳

プロジェクト名：脳情報インフラ

委 託 研 究 開 発

実 施 状 況 報 告 書 (成 果)

平成 28 年度

研究開発課題名：

脳情報クラウド

研究開発機関名：

国立大学法人 東京大学

研究開発責任者

岡ノ谷一夫

I 当該年度における計画と成果

1. 当該年度の担当研究開発課題の目標と計画

ImPACTプログラムで開発したBrain Health Quotient(BHQ)を活用した研究について、機能的MRIを利用した脳機能測定を支援する。達成目標として220名分の撮像を計画している。株式会社伊藤園により提案された「抹茶摂取による認知機能改善効果」および株式会社ユーグレナより提案された「脳科学的アプローチによるユーグレナ摂取の効果検証及び潜在的な機能性の予測」について、機能的MRIによる撮像研究に協力する。伊藤園の研究では、実験参加者に毎日2gの抹茶を摂取してもらい、摂取前後の脳構造を比較する。ユーグレナの研究では、実験参加者に毎日1gのユーグレナを摂取してもらい、摂取前後の脳構造を比較する。

2. 当該年度の担当研究開発課題の進捗状況と成果

2-1 進捗状況

双方の研究についても、実験参加者側の都合による突然のキャンセルを除き、必要な人数の実験参加者の撮像を完了した。双方の研究において、参加者の脳からVMR、拡散MRI、安静時機能的MRIを撮像した。

2-2 成果

実験データのアップロードは完了している。分析は他機関が進める予定である。

2-3 新たな課題など

試験実験の段階は完了したので、今後は統制群を導入した実験が必要である。

3. アウトリーチ活動報告

研究は完了していないので、アウトリーチ活動は行っていない。